

せとうち

瀬戸内学園広報紙

発行 社会福祉法人 瀬戸内福祉事業会
瀬戸内学園
発行責任者 宮本 勇
〒712-8015 倉敷市連島町矢柄 6092
☎086-448-1811

「根っこ せとうち」スタートしました

瀬戸内学園は、連島矢柄の地に根をおろし平成27年8月で37年目を迎えました。

倉敷市内で初めての知的障がい者の入所施設として開所し、その後通所施設さらに6か所のグループホーム運営と地域にすそのをを広げながら一歩いっば歩んできました。

この長い歴史の中、開所当初より入所されている利用者の方も少なくありません。入所者の平均年齢も50歳に近い数字となっています。地域社会では高齢化社会と言われていますが、同様に瀬戸内学園でも高齢化の波と障がいの重度化が加速し、支援においても介護技術を中心とした専門知識の習得と実践が必要不可欠な状況となってきました。今までは一人で歩いていた方が病気や怪我が原因で介護者が寄り添った移動、または車椅子を使用しているを送るなければならぬ方が急増しました。そのため、支援者の技術向上を進めるとともに、利用者の方の暮らしや活動の場を誰もが安全に安心して過ごせる環境を整えることが近年急務の課題となっていました。

そこで新たに、高齢を迎えられた知的障がいの方や身体障がいのある方々が快適に生活できるように設備を整えた瀬戸内学園3番目の

生活介護事業所「根っこ せとうち」を平成27年11月1日に開所しました。事業所の特徴として、全館バリアフリーで車椅子対応型の広い活動フロアと介護入浴に力を入れた特浴（チェアインバス）を完備、またゆつたりとした生活空間を築くことでやすらぎのひとときが過ごせるテラス等を設けました。主な活動は、散策や創作活動・レクリエーション、簡単なクッキングやガーデニング等です。これらの活動の時間を通して、利用者の方の思いにしっかりと耳を傾け、自分でできること・自分で選ぶことの喜びを感じることができるようサービスを提供して行きたいと考えています。そして、「根っこ せとうち」を選んでよかった」と思っていただけのように、職員全員が人間尊重の精神で、根っこが太く力強く支えるが如く地域にしっかりと根を張り利用者の方一人ひとりの生活を支えて行きたいと思っています。

開所して5か月が経過しようとしています。事業所内は、毎日皆さんの笑顔で満ちあふれています。

これからも、職員の支援力・介護技術、資質の向上に努め、学園理念「地域社会に暮らしにくい障がい者の豊かな生活を実現する」を糧に前進していきたいと思っています。

地域に根ざして——生活介護事業所開所——
根っこ せとうち 管理者 山田 康治

行事あれこれ

8月 納涼会

9月 倉敷市立短期大学による人形劇

10月 はげみ会食会

11月 ゆうあい文化祭

12月 つばさ せとうち 忘年会

生活介護 就労継続支援B型

クリスマス会

健康賞もらいました！

初詣

学園の出来事

☆新しい仲間

- 玉田 琢士様 瀬戸内学園 入所 11月1日付
- 三宅 信雄様 通所生活介護 2月1日付

○退職職員

- 古城 園恵 ケアホームせとうち 8月1日付
- 新谷 洋子(旧姓横林) つばさせとうち グリーンビレッジへ 12月31日付
- 松尾 睦美 つばさせとうち 2月29日付

○新人職員

- 竹井 仁実 根っこせとうち看護師 9月16日付
- 利用者様の役に立つことができるように一生懸命頑張りたいと思います。 9月1日付
- 中川 美香 調理員 分からないことがばかりで、ご迷惑をおかけしますが、よろしく願います。

●上橋 祐二 根っこせとうち看護師

- 皆様と一緒に楽しく過ごせるように笑顔を決意し頑張っています。今後ともよろしく願います。

●尾崎 晶子 管理栄養士

- 春から栄養ケアマネジメントを行います。利用者様がより健康に過ごせるように頑張りたいです。

●築山 三則 根っこせとうち支援員助手

- 早く仕事に慣れて利用者様が毎日楽しく生活ができるよう頑張ります。

●三木 あゆみ ケアホームせとうち支援員助手

- 学園で仕事を始めてからもうすぐ半年が経ちます。ご家族の方にも、頼っていただけ支援員になりたいです。

●楠野 成美 瀬戸内学園支援員助手

- 早く利用者様の顔と名前を覚えて利用者様に寄り添った支援ができるように頑張ります。

●岡 真弓 つばさせとうち支援員助手

- 一生懸命頑張ります。利用者様と一緒に明るく楽しく過ごせたらと思います。

●矢部 真奈美 つばさせとうち支援員助手

- 利用者様に寄り添いながら、笑顔を決意し、良い支援ができるよう、一生懸命頑張りたいと思います。

職員表彰者

平成27年8月

- 瀬戸内福祉事業会永年勤続表彰
- 20年勤続 鳥越 章栄
- 10年勤続 深津 康文 藤森みどり 三澤多加栄
- 5年勤続 山中 庸平 渡邊 健介 近藤 崇
- 小野 智美 岡崎 理恵 大山 智子
- 古茂田登志子

平成27年10月

- 岡山県社会福祉協議会会長表彰
- 平成27年10月 鳥越 章栄
- 知的障害者福祉事業功労者表彰
- 平成27年11月 鳥越 章栄
- 岡山県手をつなぐ育成会会長表彰
- 平成28年2月 深津 康文
- 平成27年度長期勤続優良職員顕彰
- 宮島 祥臣

平成26年度補正予算 独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金 事業完了

一般社団法人 新エネルギー導入促進協議会より独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金を受けて、太陽光発電設備を設置しました。

平成27年度 中央競馬 馬主社会福祉財団助成金 事業完了

岡山県共同募金会を通じ、中央競馬馬主社会福祉財団より施設整備等助成金を受けてボイラー入替事業が完了いたしました。

関係者の皆様に謹んで感謝申し上げます。

編集後記

今年は「甲午」
「申(サル)」が「去る」という意味を表し、「悪いことが去る」や「病が去る」など良いことや幸せがやってくるという説があります。
皆様にとって幸せな一年でありますように・・・
(編集部一同)

南海トラフ大地震を始めとする地震・津波・豪雨・洪水といった自然災害に備え、2014年8月に倉敷市と瀬戸内学園が加盟する倉敷市中心身障がい施設連絡協議会が「福祉避難所」の協定を結びました。福祉避難所とは災害時に一般的な避難所では生活が困難な方を福祉施設が受け入れるものであり、市内58の団体が協定を結んでいます。瀬戸内学園でのこの取り組みへの大きな原動力となった出来事は、5年前（平成23年9月）の台風12号による大雨で連島地区の用水が氾濫し多くの家屋が浸水し、学園近くの空き地の大きな擁壁も水の力で倒れる被害に遭った経験からでした。中学校体育館への避難

福祉避難所について

が始まった地域で避難所へ行く事が困難な障がいのある方、ご家族から相談があり16名の方が学園で一夜を過ごされました。

このように、どこでも「よもや！まさか！」が起こる分からない時代となつています。そこで新しく開所した事業所根っこせとうちに備蓄倉庫を完備し、今後は200人の避難者が3日間過ごすことができる水・非常食・毛布・発電機・ガスコンロなどの必要物品を随時整備していく方針です。

災害からの被害を軽減するためには、過去の災害から得られた教訓を活かし、日々の災害時における対策・備えを充実させると共に、迅速かつ適切な防災活動・避難訓練を実施していくことが大切になるのではないのでしょうか。また地域の皆様も避難経路・避難場所・ご家族の安否確認の



備蓄倉庫

から安全に避難させ、その後全利用者様を避難誘導、人員確認をするといった訓練に、声を出し協力しながら毎回緊張感を持ち取り組んでいます。次年度以降も、万に備えて全職員が連携しながら訓練を継続していきます。

9月1日は防災の日ということで瀬戸内学園でも倉敷市水島地区の津波ハザードマップで危険個所の確認、地震防災に関するDVD上映、また全職員で非常食の調理・試食をする取り組みをしました。無洗米の炊き出し・缶詰・乾パン・味噌汁などを実際に調理することで、災害時は大変であることを実感し、災害時の備えの重要性の意識向上に繋がりました。



炊き出しの様子



非常食

エビワン AB-1コンテストで 菓子部門グランプリを受賞しました

昨年11月8日に川崎医療福祉大学で第11回くらしきフォーラムのイベントとして、2回目となるAB-1コンテストが開催されました。AB-1コンテストとは障がい者施設がそれぞれ自慢のグルメ食料品を販売し、来場者の投票によりグランプリを決定するコンテストです。その中でつばせとちが販売している「ジンジャークッキー☆ミックス」が見事、菓子部門でグランプリに輝きました。連島特産の新鮮なシヨウガを使用し、プレーン、ココア、抹茶、紅茶の4種類の味にシヨウガを混ぜ合わせた逸品です。注文も受け付けています。是非、ご賞味ください!!

ジンジャークッキー☆ミックス

「根っこせとうち」をご紹介します!



シンボルマーク



昼食風景



創作活動



特浴（チェアインバス）



コーヒータイム



ガーデニング



おやつ作り



カラオケ

ありがとうございました

平成27年11月1日に「根っこせとうち」の竣工式を執り行いました。多くの関係者にご参加いただき、また、箏曲三上社中の皆様の箏とチェロの協奏による素敵なお祝いの演奏もあり、竣工式を滞りなく終えることができました。皆様のご支援とご協力に對しまして深く感謝申し上げます。

また、以下掲載の皆様方には祝花等多くのお祝いの品をいただき、心よりお礼申し上げます。

- ・(株)荒木組 様
- ・(株)ICS 様
- ・(株)小沢医科器械 様
- ・(有)アソシエイツ一級建築士事務所 様
- ・(有)オオニシ 様
- ・(有)オノキミ 様
- ・大和ハウス工業(株)岡山支店 様
- ・綜合厨器(株) 様
- ・クラブ(株) 様
- ・介護保険長尾相談室(有) 様
- ・社会福祉法人 めやす箱 様
- ・社会福祉法人 中野社会福祉協会 生活介護事業所ひだまりいろ 様
- ・箏曲三上社中 様
- ・広島銀行 玉島支店 様
- ・グリーンピア瀬戸内 様
- ・グリーンビレッジ瀬戸内 様
- ・吉澤医院 様
- ・角南 百合枝 様
- ・鮫島 秀信 様
- ・瀬戸内学園 家族会
- ・瀬戸内学園 後援会

(順不同)

新生活介護事業所「根っこせとうち」(以下、根っこ)の活動を紹介します。

根っこは、定員20名で現在19名の利用者様が毎日元気に来所されています。来所された利用者様から検温や血圧といった健康チェックを行い、毎日の健康状態の把握を行っています。根っこでは看護師が2名常駐しており、必要に応じた医療的な行為も行っていきます。また、嘱託医による定期的な往診を行っています。

本格的な活動の開始は、利用者様が揃う10時頃からです。日課ボードで一人ひとりの今日の活動を確認した後、「根っここの唄」を皆で合唱し、活動がスタートします。

午前は、創作活動・散策・ガーデニング・ワーク・外出・入浴と一人ひとりのニーズに合わせて活動を行っています。創作活動では、パステルアートやちぎり絵による壁紙作りに加え、クリスマスの装飾や年賀状作りといった季節に応じた活動等行っています。散策では気分転換・体力づくりのため、毎日事業所近辺を歩いています。また、事業所内にガーデニングスペースを設けており、水やりや鉢植え等も行っています。入浴設備は4つの一般浴槽に加え、車いすの方でも安心して入浴ができるようチェアインバスも完備しており、毎日快適な入浴を提供しています。

午後からの活動は入浴をされる利用者様がほとんどですが、入浴をされない利用者様はカラオケを楽しまれています。その他、定期的におやつ作りを行っており、フルーチェやホットケーキ等、利用者様にもお手伝いをしていたりしながら調理しています。

一日の締めくくりは、「ティータイム」。利用者様一人ずつにコーヒー・紅茶・カルピス・ココアの中から好きなものを選んでいただき、ティータイムの時間に提供しています。皆さんで談笑しながらの楽しいひと時です。

最後に、1から何かを始めるということは苦勞も多くありますが、それ以上にやりがいを感じる事ができます。覚えるべきことややるべきことが多く、ばたばたとした毎日を送っていますが、利用者様が充実した毎日を送ることができるよう、そして地域に根付いた事業所となるよう試行錯誤しながらも職員一丸となって日々取り組んでいます。今後ともよろしく願っています。

「根っこせとうち」開所に当たり、倉敷南ライオンズクラブ様より2台の液晶テレビの寄付をいただきました。利用者の皆様のテレビ・DVD鑑賞やカラオケ等、有効に活用しています。ありがとうございました。

第34回学園祭 開催のお知らせ

～笑顔あふれる矢柄桜フェスタ～

地域の皆様との交流の場として様々な催し物を予定しておりますので、ぜひ瀬戸内学園前、矢柄公園にご来場ください。

開催日：平成28年4月9日(土)
雨天決行

詳しくは瀬戸内学園ホームページをご覧ください。
ホームページ
<http://www.setouchifukushi.jp/gakuen/>

瀬戸内学園

